

<その他、取組に特徴のある事例>

○多面的機能の増進による里山機能の復活

1. 集落協定の概要

市町村・協定名	愛媛県今治市 <small>いまぼりし</small> 鍋地 <small>なべじ</small>			
協定面積 9.9ha	田 (100%)	畑	草地	採草放牧地
	水稻			
交付金額 166万円	個人配分			30%
	共同取組活動 (70%)	道・水路管理費		32%
		道・水路整備費		17%
		鳥獣被害防止対策費		9%
		役員報酬		4%
その他		8%		
協定参加者	農業者 20人			開始：平成12年度

2. 取組に至る経緯

鍋地集落は、天水を利用した稲作中心の小さな集落であるが、近年、農業者の高齢化による担い手不足、耕作放棄地や放置竹林の増加などの問題から、集落内の多面的機能の低下や景観の悪化が懸念されたため、本制度に取り組むこととした。

本制度への取り組みを通じて、集落内の連携が強化されたが、さらなる集落活動の活性化を図るため、平成13年に意向調査を実施し、当地域の資源を生かした「安心・安全・豊かさ」を実感できる集落環境づくりと農林業生産活動の更なる活性化を軸に共同活動に取り組み、現在に至っている。

これまで、農道・水路・ため池の維持管理やイノシシ防除用電柵・捕獲器の設置等に取り組んできた。また、放置竹林を伐採し、伐採した竹を活用して竹炭を創るための窯を手作りし、さらに、竹林跡地に梅・桜・ヤマモモを植樹し、景観づくりにも取り組んできた。

3. 取組の内容

農道水路の整備、草刈り等による農道水路の管理、イノシシを中心とする鳥獣被害防止のための防除用電気柵の増設・補修、捕獲器の設置を行うとともに、高齢者や二種兼業農家の所有する水田を中核農家へ作業委託の推進を行っている。また、営農のサポートの他に、地域の伝統行事（秋祭り等）にも積極的に参加し、豊かさを実感できる里山の復活を目指している。



【協定集会】



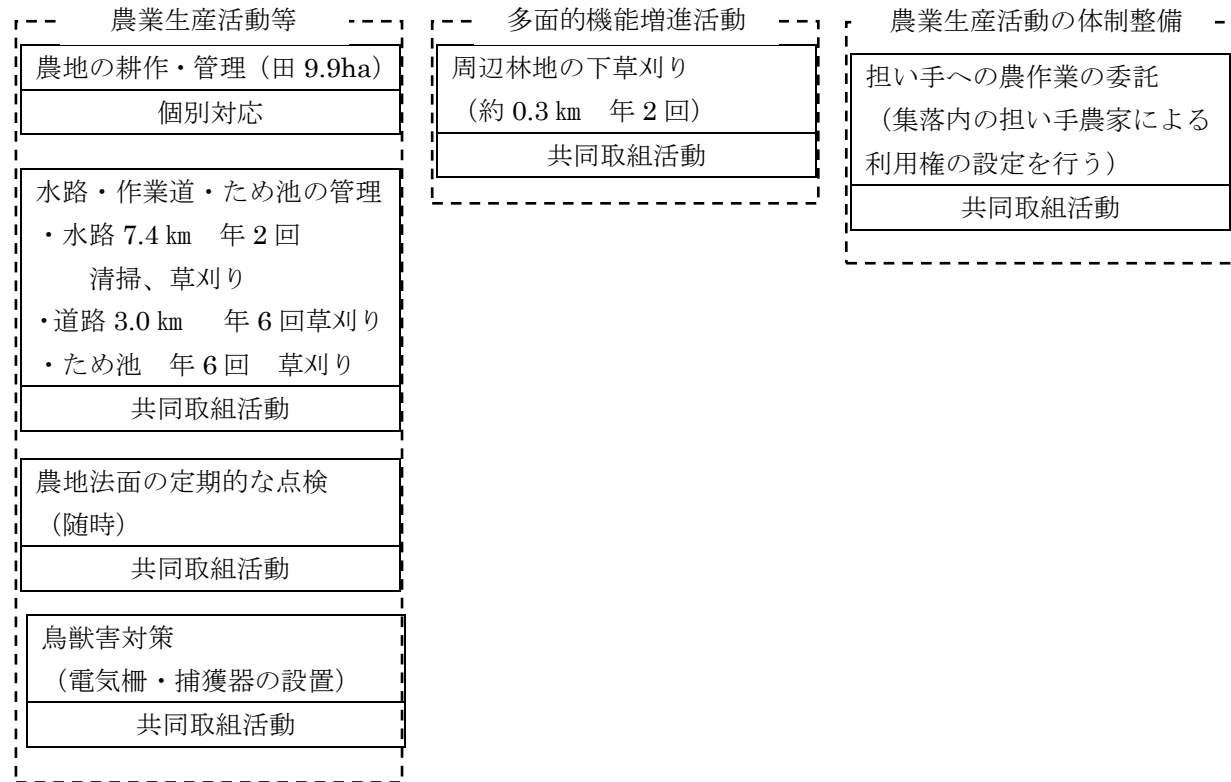
【電柵設置作業】

【集落の将来像】

○ 地域の実情に即した環境保全活動の実施による集落環境づくりと農業生産活動の活性化。

【将来像を実現するための活動目標】

- ため池・河川・農水路の点検清掃等。
(年2回程度点検見回りし、状況に応じて清掃・整備等対応する。)



4. 今後の課題等

集落一農業経営を目指してきたが、高齢化の進行や担い手不足に加え、倉庫・農業機械等のハード整備のための資金不足等により、未だ現実化していない。

今後は、農地の維持のための地道な活動に取り組むとともに、鍋地集落が活力のある明るい集落であるよう話し合い等を継続していきたいと考えている。

【第2期対策の主な成果】

- ・イノシシ防護柵（電柵）・捕獲器の設置。
- ・農道・水路・ため池等の清掃・修繕による長寿命化。